

平成30年度自治体等FM連絡会議福島県地域会の開催報告

福島県地域会代表幹事 福島県総務部財産管理課

財産活用担当 渡部 翔太郎

1 講演会について

去る平成30年11月30日（金）、福島県庁本庁舎5階正庁において、平成30年度自治体等FM連絡会議福島県地域会を開催し、福島県内11の自治体から37名が参加しました。

地域会に先立ち、前橋工科大学の堤洋樹准教授をお招きし、「公共施設等総合管理計画策定後の公共FM実践について」と題して、ご講演をいただきました。

堤准教授の講演では、他自治体の先進事例として、長野県小布施町における住民主体のまちづくり整備手法やBaSSプロジェクト（地域を持続可能にする公共資産経営の支援体制の構築）の事例として大阪府池田市における住民ワークショップによる地域の声を反映した施設整備手法などをご紹介いただき、住民のための公共施設マネジメントの重要性をご教示いただきました。

講演会終了後、参加自治体が堤洋樹准教授とFMに関して日ごろ疑問に思っている点など個別に相談できる時間を設け、専門的な知見から貴重なアドバイスをいただき、これからの施設マネジメントに活かすことのできる良い機会となりました。

講演会終了後のアンケートでは、「今後の取組を進めていく上でヒントを学ぶことができた」、「『FMとは何か』イメージができていなかったが、自分なりのイメージを形成できた」、「『道路を図書館に』等、自治体にはない発想を参考にしたいと思った」など、今後、取組を進めていく中で参考になった旨の意見を多くいただきました。FMに取り組もうとする本県の自治体の職員にとって、大きな励みと貴重な教訓になったと思います。



2 地域会について

講演会後の地域会では、平成31年度の活動計画（案）及び幹事選任の議案について審議が行われました。

福島県地域会は、今後も福島県内の自治体等FM関係者との情報交換や交流の場を設け、会員相互の連携強化を図りながら、より一層活発になるよう活動していきます。

また、自治体が主体的に参加できるような地域会を実施していけるように、他自治体と協力しながら、今まで以上に活動を活性化させていきたいと考えています。